
夢想王国物語

midnight

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夢想王国物語

【Nコード】

N2033BA

【作者名】

midnight

【あらすじ】

王女が逃げ出した！その知らせを受けた准将レオは、ひよんな事が原因でハイドラ王国王女シャネラと出会う事になる。しかし二人の許されない関係が続いて行く中、シャネラに一刻を争う大きな問題が発生する。レオはその問題を解決する為に旅に出る事になるのだが、彼は本当に王女を救うことができるのだろうか。

プロローグ（前書き）

この作品はオリジナルです。

万が一登場人物及び設定、地名などが他作品と重なる場合があります。それでも、それは単なる偶然であり、故意によるものではありません。

あまり上手く無い文ですが、温かい目で見て頂けると光栄です。

私用が無い限り、多分毎日更新します。

プロローグ

「それでは王女様、しばらくした後にまた御迎えに上がりますので」
朱色の夕陽を背に受け、無精髭を生やした中年の男は軍服の襟を正してから一礼した。

胸元には数々の栄光を数え上げた勲章が煌めいている。

彼の双眸からは、実力でこの地位まで上り詰めた人間の覇気が感じられた。

一方で男の正面の椅子に腰かける美姫は、男の声を聞いてどこか気に食わなさそうにしながらも、渋々と受け入れるような苦笑いをして「大人しくしている、というのでしょうか？」と静かに返した。
ぶっきらぼうな言い方に男はしばし沈黙したが、誤魔化す様な笑いをして小さく首肯した。

「姫様の安全を考えてのことでございます。特に今日のような日にはどのような者がいるか分かりませんし」

「詭弁だわ。私がまた自分勝手に行動すると面倒なのでしょう」

王女はまるで人を侮蔑するかのような眼をしながら微笑を浮かべた。

「またそのような事を……。しかしシズク様もいらっしやらない今、御一人で行動されるのは正直危険極まりないのです。ですから」

「いつまでもうるさいわね。用があるならさっさとお行きなさい」

彼女は空に舞う小さな虫を追い払うかのように手でしっし、と払い

のけた。

この国の將軍の一人でもある彼は、今日とあるう日にどうしても用があつて王女の傍を離れなければならぬのだが、いつまでもくどくどと忠告することにはいつしか王女は苛立ちを覚えていた。

邪魔者扱いされた男は決まりが悪そうに喉を鳴らした後、「すぐに迎えをよこします」とだけ言い残し、さつさと王女の私室を出て行ってしまった。

外は今日と言う日にも関わらずしんとしていて、男が硬い床をした回廊を歩み去っていく軍靴の音が反響していた。

王女はしばらくそのまま席に腰掛けて茶を嗜んでいた。

しかし男の靴の音がなくなるや否や、一国の王女とは思えない速さで自室のクローゼットに走った。

クローゼットには綺麗なドレスや優雅な着物が召使いによって並べられていた。その中で、王女は服と服の間にくっそりと隠してあったローブに袖を通した。

見た目はまるで貧しい一般庶民のようで、一旦フードを被れば王女とは分からないだろう。

「じめんなさいね」

ぼつりと誰もいない私室に向かって言い残し、ベッドの上にあらか

じめ用意しておいた国軍兵士の軍服を羽織って、彼女は誰にも気付かれずにこっそりと部屋を出た。

男はすぐに迎えをよこすと言っていたが、一階からここへ上がってくるまでには少なくとも2分はかかる。それに一般兵士を装えば怪しく見えるはずが無い。

日々に誰かに束縛されている王女からすれば、無防備なその2分というのはチャンス以外の何物でも無い。

こうして、多くの人を巻き込むことになる王女の失踪が始まったのである。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2033ba/>

夢想王国物語

2012年1月5日01時46分発行